

The Japan Interior
Designers Association
Monthly Report
No.226
Oct, Nov, Dec, 2004

JID news

JID月報：通巻226号
平成16年10月、11月、12月号
発行日：平成17年1月10日

発行：(社)日本インテリアデザイナー協会
〒163-1008 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー8F
電話 03-5322-6560 FAX 03-5322-6559
発行人：川上玲子

社団法人日本インテリアデザイナー協会

目次

巻頭：理事長・新年挨拶

平成16年度 第2回正・副理事長会議	2
本部報告(事業推進担当)	5
// (4事業支部担当)	6
委員会報告(総務委員会)	6
// (交流委員会)	7
// (選考委員会)(情報委員会)	8
トピックス(IFFT2004を見て)	9
支部活動報告(関東事業支部)	10
// (中部事業支部)	11
// (関西事業支部)	12
// (九州事業支部)	14

事務局からのお知らせ	15
新会員紹介	15

理事長挨拶



川上玲子
理事長

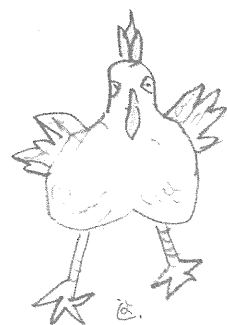
新年おめでとうございます

新しい年と共に、JID会員として新たな気持ちで意欲的な活動が期待される年になるのではないのでしょうか。お互いの力を合わせて国内的にも国際的にも前向きな気持ちで前進しなければならない大事な年です。

特に国際的には日本のデザインが注目され始めている中で、積極的に参加する企業も多くなった近年、私達JID会員も国際活動を諸外国から望まれている事の認識をしなければならない時期でもあります。

各支部を中心に委員会活動も盛んになり始めた現在、更に外に向かったJID発信が望まれて来ています。他協会や海外とも関係を計ることにより、デザイン分野における地位向上と社会的役割を認識し、積極的に行動できる全員参加型のJIDを目指して行きたいと思っています。

JIDの企画、研究、事業活動を社会に向けて積極的に発信し、参加する事の意義と楽しみを感じることが出来る感性豊かなJIDを、皆で造り上げて行きたいと思っています。



正・副理事長会議

平成16年度 第2回正・副理事長会議

(理事会代行)

日時：平成16年11月27日(土) 13:30～17:00

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

OZONE会議室

出席：理事長 川上玲子

副理事長 小宮容一、阪井良種

事務局長 峰尾武

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

[2] 平成16年度収支状況報告(10月末)

[3] 財務運営資金繰り

[4] 平成17年度予算作成に関して

[5] その他

平成16年度第3回理事会日程

平成17年1月21日(金) 13:30～16:30

2005年ニューイヤーズパーティ 同上 18:30～20:30

II 議題

第1号議案 後援協賛名義承認の件

第2号議案 会員入退会承認の件

議事

川上理事長が議長となり議事に入った。

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部(報告書 佐藤健一支部長)

●10月4日第1回関東事業支部委員会全体会議(参加33名)。プロジェクトメンバーバンク制度の説明と質疑を実施。

●事業委員会(下島資子委員長)：人事の確認及び3プロジェクトの実施目標。1)市町村支援事業(候補、小田原市)、2)展覧会、3)セミナー

●研究委員会(長岡貞夫委員長)：11月12日第1回家具デザイン研究会議を実施。テーマについてフリーティング。11月18日第1回スケルトンインフィル研究会議を実施。16年度事業として15年度活動内容を3月までに発表。

●総務・組織委員会(酒井正人委員長)：11月25日第1回委員会を開催。総務活動、関東ユース(ACT)、パートナーズ関東を討議。

●情報委員会(早乙女明子委員長)：11月末委員会全体会議を予定。関東ホームページの見直し。

●交流委員会(金杉哲男委員長)：12月中旬委員会

全体会議を予定。マイチェア部会はプロジェクトメンバーを含め始動。

その他、会員ワーク集に関する今後の販売等については1月理事会で決定の予定。

◆中部事業支部(報告書 小宮三辰支部長、安藤清理事)

●8月25日8月度役員・連絡会を実施。名古屋扇子展、アクト中部名称変更等討議。

●9月24日9月度役員・連絡会を実施。ホームページ更新等討議。

●10月1日～31日名古屋デザインウィーク、学生ディスプレイデザインコンペ、ライブマーケット審査員としてJID参加。

●10月22日、10月度役員・連絡会を実施、旬のお店訪問。

●11月2日、ものづくり探索で、扇子制作工程について2軒訪問。

●11月19日、11月度役員・連絡会をデザインセンターで実施(名古屋扇子)。

●今後の予定、12月度役員・連絡会を12月17日に予定。

◆関西事業支部(報告書 山本紗代子総務部会長、清家淳一支部長・理事)

●総務部会：10月19日(火)第4回支部運営部会開催。部会活動報告、(財)国際デザイン交流協会主催「国際デザインコンペティション大阪2004」審査員選出等討議。10月25日(月)「国際デザインコンペティション」審査員選出の件、会員へ公募。応募者(自薦・他薦)から佐々木恵子会員を選出。その他「デザインと著作権」の関するアンケート調査報告書」配布希望者募集。

●組織部会：10月2日(土)事業・賛助会・協賛企業G、第3回企業による重点&商品説明会及び交流会実施。参加企業5社、参加者33名。

●情報部会：「ECHO」25号発行。その他、関西通信及び号外発信。

●研究発表部会：10月25日(土)展覧会G、平成16年12月9日～14日開催の「日本の空間デザイン展2004」会員作品募集。

●ACT-kansai：9月4日(土)ヤマギワショールーム見学会・デザインディスカッション開催。10月2日(土)甲子園ホテル・ヨドコウ迎賓館見学会開催。9月21日(火)臨時総会開催。役員の改選を行い、会長に青木円香さん、副会長に木田智子さんが就任。

●USD-O(大阪デザイン機構)：10月5日(火)第2回理事会。DAS高校生コンペについて・JCD主催SIGN-NEXPO 2005に協賛決定。10月21日(木)第3回常任理事会。HP作成承認・第21回ゴルフ大会の件・USD-O表彰規定について討議。11月4日(木)第3回理事会。会員団体活動における表彰に関する規定承認。

- その他、今後の予定を提出。
- ◆九州事業支部(報告書 飯田一博支部長、山永耕平理事)
 - 10月23日(土)～24日(日)第3回鹿児島例会
新しい九州新幹線で行く隼人町「南風の生活文化展と黒川紀章設計のホテル京セラ」九州新幹線つばめ800系「隼人の風」の車輛とインテリア(設計水戸岡鋭治氏)を視察。
 - 「南風の生活文化展2004」は今年で7回目を迎えているHayato Desig Competition 2004。テーマ「大らかに時を紡ぐ」に北海道から沖縄まで282点の参加があり、素材とジャンルにこだわらず、生活の場を提言する作品を公募している。協会から山永理事が審査に参加。
 - 今後、11月福岡デザインリーグ開催と、12月又は1月に第4回山口、北九州例会を予定。
- ◆本部総務委員会(報告書 伊藤公一委員長、秋山修治理事)
 1. 9月14日賛助会員サイレントグリス(株)研修会実施。(関東事業支部と共同)
 2. Jプロジェクトについて、本年5月より活動の賛助会員入会勧誘の報告と、来年度に向け委員会内で3プロジェクトに再編、プロジェクト担当・広報担当・賛助会員担当とし、第2回アクションプログラムを作成中。
 3. 委員会の年間スケジュールを作成、委員会内各担当役割を明確にする。
 4. デザイン保護との同一委員会として合流、相互交流の推進。又デザインと著作権に関する調査報告書の一部配布(デザイン団体協議会)。
 6. JID大型会員証(正、賛助)の販売企画。
 7. 2005ニューイヤーズパーティを1月21日(金)に開催。
- ◆本部交流委員会(報告書 小野由記子委員長、坂本和正理事、山永耕平理事)
 1. IPEC21-2004
IPEC21-2004に協会特別協賛、出展及びセミナーを実施。(10月13日～15日)
展示に関しては、川上理事長が主催者と折衝2コマの提供を受け、関東事業支部企画による「バケツオフィス」のバルーン面にJID会員ワーク集の作品を投射して紹介。又セミナーに関しては、インテリアデザイナー内田繁氏に講師を依頼「日本的空間の特質について」をテーマに自作を通して講演いただき、展示、セミナーとも好評のうちに終了した。
 2. IFI新理事長を囲んで
IFI新理事長Young Baek Min氏(韓国)来日、10月16日都内で懇談会を行った。参加者は川上玲子、阪井良種、中川帛子、木村戦太郎、長岡貞夫、李泰久、坂本和正、酒井正人、森美香子、小野由記子の各

会員が出席、IFI、APSDA他 懇談。

3. APSDA 2004 キャンセルについて

本年10月に開催予定であった、APSDA総会が主催者であるHKIDA(香港)の事情により急遽キャンセルされた。この事態を重く見たメンバー各国からは、総会は中止でなく延期であるべきとの意見が多く、IFI理事長のMin氏が今後のAPSDA運営について12月シンガポールで意見交換をしたいと呼びかけ12月11日に実施となり、坂本理事が出席を予定。

4. 2005 IFI 総会について

IFI総会が2005年9月22日～28日コペンハーゲン(デンマーク)を中心に、ヘルシンキ(フィンランド)、イエテボリ(スウェーデン)オスロー(ノルウェー)で開かれる。交流委員会ではこれに関連して「北欧デザインツアー」仮称を企画の予定で情報を収集中。

◆情報委員会インターネット(報告書 鳥井貴正委員長、吉良ヒロノブ理事)

情報委員会を8月11日から4回開催、ホームページの改訂を中心に討議。Webデザイン改訂制作を専門家立原秀一氏に依頼、ホームページの改訂を行っている。内容は単純でわかりやすいものとし、トピックス・ニュース等はタイムリーにアップデート可能とする。予算の使用に関しては極力抑えており、メールアドレス運営管理費に関してはあまり必要としないが、ホームページ改訂費の予備費として一部使用の可能性あり。

◆情報委員会 JID News(報告書 八十常充委員長、清家淳一理事)

JID News 225号を発行、引き続き226号(新年号)を1月10日頃発行の予定。尚今後賛助会員の広告募集を行う予定。

◆選考委員会(報告書 木村戦太郎委員長、岩倉榮利理事)

10月2日第3回、11月6日第4回選考委員会を開催。

1. 応募要項の発表

発送は17年2月頃となるが、ニューイヤーズパーティで発表及びホームページに掲載する。

2. 外部審査員に関しては現在候補を持ち寄り人選に入る。

3. 応募要項のデザインはいくつかの案が出てきており、デザインを検討決定する。

4. 入賞盾、表彰状ともデザイン検討中。

今後12月12日第5回選考委員会で詳細の詰めを行う。

◆事業推進担当(小宮容一副理事長、安藤清理事、丸谷芳正理事)

1. 事業推進の必要性

本部事業の見直し、支部事業の活性化はもとより、会員の意識充実、会員拡大、職能団体として地位の

向上、社会貢献などの実現を考える。

2. 目的項目とその方法

具体的なものとして、本部支部の事業展開、他団体・賛助会員等との具体的な事業展開、HP/Webの活用等々現在事業推進の概念図を検討中。

◆4事業支部担当(阪井良種副理事長)

1. JID-ACTに名称の変更に関し、現在活動中事業の事情等があり、各支部ごとに順次改訂していく。

[2] 平成16年度収支状況報告(10月末)

上記につき事務局長より説明。

[3] 財務運営資金繰り

上記につき事務局長より一部会費入金状況に滞りがあるが、現状はやや順調に推移と説明。

[4] 平成17年度予算作成について

12月中旬頃各事業支部及び本部各委員会等に予算の編成を依頼17年1月中旬に回収、1月の第3回理事会で審議その後調整に入る。

[5] その他

1. 平成17年度総会までの予算編成に係るスケジュール確認。
2. 平成16年度第3回理事会及びニューイヤーズパーティ日程確認(前回理事会で決定済)。
平成17年1月21日(金)
理事会 13:30 ニューイヤーズパーティ 18:30
3. JID平成17年度第37回通常総会に関し、中部事業支部より2005年万博開催があり、名古屋で総会を開催してほしいとの要望あり、今後検討することとした。

以上報告事項につき議長は承認を諮り、正副理事長会議が了承した。

II 議題

◆第1号議案

後援・協賛名義承認の件(6件)

事務局長が下記6件に関し説明、議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

- 「あかりメッセージ2004」
2004年12月7日(火)～12月17日(金)
ROPPOINGI展 AXIS会場
2004年12月9日(木)～12月26日(日)
SHINJYUKU展 OZONE会場
主催：JIDA／社団法人日本インダストリアルデザイナー協会 東日本ブロック 後援・継続
- 「第59回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2005」
平成17年2月15日(火)～2月18日(金)
東京ビッグサイト
主催：株式会社ビジネスガイド社 協賛・継続

- 「国際家具デザインフェア旭川2005」
2004年6月1日(火)～2005年6月15日(水)
主催：国際家具デザインフェア旭川開催委員会 後援・継続
- 「JAPAN SHOP 2005(第34回店舗総合見本市)」
平成17年3月1日(火)～3月4日(金)
東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社、財団法人店舗システム協会 協賛・継続
- 「建築・建材展2005」
平成17年3月1日(火)～3月4日(金)
東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社 協賛・継続
- 「ライティング・フェア2005(第7回国際照明総合展)」
平成17年3月1日(火)～3月4日(金)
東京ビッグサイト
主催：社団法人日本照明器具工業会
日本経済新聞社 協賛・継続

◆第2号議案

会員入退会承認の件(2件)

事務局長が下記2件に関し説明、議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

- 正会員 入会(1件)
松岡茂樹(関東) 推薦人：日方一城、峰尾武
- 正会員 退会(1件)
0723 須長壮太郎(関東)

以上につき議事経過及び議決事項を記すため、議長と副理事長が記名捺印する。

議長 川上玲子

副理事長 小宮容一、阪井良種

事業推進の基本的な考え

副理事長・事業推進担当理事 小宮 容一

会員各位には、理事会報告やJIDNewsで、今年度より、本部組織に新しく「事業推進担当」が組織されたことは周知のことと思います。担当は、私と安藤清理事、丸谷芳正理事の3名です。JIDNewsの前号で私と丸谷氏で、各々に考えを記述しました。その後、重ねて三者の間で、意見交換し、次の様な基本的部分を確定しましたので報告します。

[1] 事業推進の必要性

バブル崩壊後、経費の上昇と会員数の減少に直面した本部理事会は、JIDの維持・発展の為、事務局改革、財務改革、続いて組織改革を断行し、良好な結果を得てきた。そこで次にすべきは、事業改革であるとして「事業推進担当」を組織した。

本部事業の見直し、支部事業の活性はもとより、本部支部の根本的な構造改革を必要とした。

[2] 事業推進・改革の目的

スリムな本部事業と、活発な4支部の事業展開により、本部機構の改善、会員の意識充実、会員拡大、職能団体としての地位拡大、社会的貢献の拡大などを実現することが目的である。

[3] 事業推進の「目的項目」と「その方法・内容」

1.本部・支部事業の役割分化

- 本部事業：「JID賞」「国内・国外交流」「JIDNews」「ワーク集」「新年会」「HP/Web」など。
- 支部事業の全国展開：「センスのあるインテリア展」「F.L.ライトとの対話展」他。

2.事業の拡大・効率化

- 他団体との共同・協賛事業：「IPEC」「IFFT」
- 賛助会員との協力事業：「新製品説明会」「J-プロジェクト」他。
- ACT会員との協力事業：「ACT展」他

3.社会的貢献

- 「JIDフォーラム」「展覧会」他。

4.PR・プロモーション

- HP/Webの活用
- 他団体との共同・協賛事業

5.会員スキルアップ

- 講演、講習、研究、CDP制度、発表、展覧会他

6.国際関係の維持

- IFI、APSDA参加他

既に事例のある、本部に依頼のある他団体からの事業企画を、事業支部が受けて実施・実動する形は、本部事業のスリム化の良好な方式です。また、社会的貢献の「フォーラム」「展覧会」などを、支部で企画、全国展開するとなれば、これもスリム化と支部事業の活性化となるものです。現在進行中である中部事業支部企画の「センスのあるインテリア展」は、「支部事業の全国展開」の初の事例となるでしょう。

PR・プロモーションのHP/Webの活用は、特に世代が若くなるに従い、PCの利用度・アクセス度は高く、重要なプロモーションツールと言えます。また、世界への発信であることもHP/Webの利点です。現在JIDのホームページは、本部情報委員会で刷新・改定中で、良いものができるべく努力が、重ねられています。

会員スキルアップについては、11月に「本部・支部・年間事業予定」を調査しましたが、その結果を見ますと、4事業支部はそれぞれに研究会、見学会、セミナーなどを、開催しており、これらを総括するシステムを事業推進担当内で模索中です。

16年度中には、「方法・内容」の具体的で新しい政策をまとめたいと考えています。

———新潟県中越地震義援金のお礼———
先般来、正会員の皆様にご協力をお願いいたしておりました、新潟県中越地震に対する義援金については多数の方々より、125,000円のご協力をいただきました。有難うございました。

12月21日に新潟県災害対策本部に寄付させていただきましたのでご報告いたします。

皆様のご協力に感謝いたします。

理事長 川上玲子

本部総務委員会委員長 伊藤公一

本部・4事業支部担当・報告

JID-ACT・・・名称統一

副理事長・4事業支部担当理事 阪井 良種

皆様御存知のように、今年度から支部担当理事制度が廃止され4支部を総合的に担当する4事業支部担当が新たに発足いたしました。

今回は、以前から監督官庁から指導のありました、支部管轄の学生やインテリアデザインに興味のあるグループの名称が4支部不統一の点に付いて、各支部の担当各位の御意見を踏まえ、理事会にて名称を統一することが決定されましたことを、お知らせいたします。

1.統一名称は「JID-ACT 各支部名」

- ロゴは各支部で自由に作成してください。
- JID-ACTは英文大文字とするが、支部名は英文・漢字・カタカナ…自由に作成してください。

例：JID-ACT kansai

(JIDとACTの間は-で区切る)

遅くとも平成17年度からは全ての広報物に上記の統一名称の使用をお願いします。

2.各支部において地域に密着した独自の活動が出来るように、名称のみの統一とし、各支部にて会費・年齢等の会則を設定してください。

以上ですが、今後とも各支部でインテリアに興味ある多様な生活者の方々、又インテリアデザイナーのプロを目指す若者たちが、JIDを通じより深い興味、実務の習熟にこのJID-ACTが有効に運営されるようお願いいたします。

又、今後各事業支部において支部間の縦断的な調整が必要な問題については、担当の私に自由に連絡・相談くださる様お願いいたします。

JID-ACT kanto

JID-ACT thubu

JID-ACT kansai

JID-ACT kyushu

委員会 報告

総務委員会

担当理事：秋山修治

委員長：伊藤公一

J-プロジェクトについての経過報告

本部総務委員会は、平成14年度より今回のプロジェクトの準備を進めてきました。今回はその経過についてご報告します。

- 1.そもそもJ-プロジェクト立上げのベースになったのは次のような理由からです。
 - 正会員、賛助会員とも減少しており、この流れを何とか変えていきたい。
 - 新しい会員を獲得するため、JIDの持つマンパワー、知名度の再構築。
 - 職能者集団であるJIDと賛助会員企業の関わりを密接にしたい。
 - 新入会員の入会のインセンティブになるような仕組みを作りたい。
 - 正会員の持つIDカードの付加価値。(海外ではそれなりの効果がある)

プロジェクト開始以来、各委員と活発な議論を重ね、多くの貴重な意見を集約することが出来ました。昨年は、賛助会員企業100社アンケートの実施、本年は、新規賛助会員獲得のため各委員が企業訪問をし、多くの新規入会を戴くことが出来ました。

2.J-プロジェクトの凡そのイメージは

- JIDのIDカードを持つ正会員は、賛助会員企業と直接商品の取引が可能。
- 取引価格については、一定の水準を設定する。
- JIDの賛助会員企業は、全国のショールームなどに、会員証を掲示する。
- 可能な限り、全国で一律の取り扱いができる様、ネットワークを作る。

3.プロジェクトのスタートは?

本部総務委員会は、来年の8月のスタートを目指し、委員全員で現在活動中です。目標は先ず10社前後で立上げ、参加していただける企業を増やしていきたいと考えています。

全国の会員の皆様には今後是非ご協力をお願いします。

※JID本部総務委員会は、事務局にて毎月1度委員会

を開催しています。興味のある方、あるいは、委員会に所属されていない方は、是非ご参加ください。開催日は事務局にお尋ねください。

※また、委員会が東京で開催されているため、東京地区以外の方は参加しにくいのが実情と理解しています。メール等を通じ積極のご意見をお寄せ戴きたくお願いします。

ご意見は、事務局へFAX・レターでも結構です、ご協力をお願いいたします。

委員会 報告

交流委員会

担当理事：坂本和正

委員長：小野由記子

今年もIPEC21・2004を特別協賛しました

JIPA・IPEC21実行委員会の要請を受け、本部・交流委員会はIPEC21・2004を今年も特別協賛しました。

会場は東京ビッグサイト、会期は10月13日～15日。

展示エリアへJIDのPRを出展、セミナーの講師にインテリアデザイナー内田繁氏を推薦しました。

展示については『JIDギャラリー』と題して関東支部が主体で実行に移したのでその内容は本紙関東支部のドキュメントをご覧ください。

デザインセミナーは、10月13日に内田氏が東京ビッグサイトで講演、彼独特の持論である日本の伝統の中に今も息づく『空＝うつ』、『決壊と神聖なる場』、『仮設性』などを熱く語り、彼のホテルのロビーの設計手法、モダンな茶室などにその思想を取り込んだ事例をスライドで解説しました。50余名の受講者は大変感銘をうけた様子で、IPEC21に対しJIDはタイムリーな貢献をしたと思います。

IFIの新理事長を囲んで

10月16日、滞在中のYoung Baek Min氏を招きし、懇談会を行いました。

氏は理事長としての初心表明で「理事長の最も大切な義務は我々の職業に対する誠実と献身だ。」と語っているように、物腰の柔らかさの奥に意志の硬さと行動力を感じさせる人でした。食事をはさみ終始和やかに話が弾みました。

参加者は、川上玲子、阪井良種、中川帛子、木村戦太郎、長岡貞夫、李泰久、坂本和正、藤原啓克、酒井正人、森美香子、小野由記子

「APSDA 2004」がキャンセルされた

2004年10月香港で開かれる予定であったAPSDA 2004 (ASIA PACIFIC SPACE DESIGNERS ASSOCIATION)の総会は、今回の主催者であるHKIDA(香港)の内部の事情により、急遽キャンセルされました。

この事を重く見たメンバー各国からは、総会は中止ではなく、延期であるべきとの意見が多く寄せられました。

これを受けてIFI理事長MIN氏が今後のAPSDAの運営について意見交換をする機会を急遽シンガポールで持つ事を呼びかけ12月11日にAPSDAの全てのメンバー国が代表を送り、ミーティングを持ちます。

JIDからは交流担当理事の坂本氏が参加いたします。

2005 IFI 総会について

IFIの総会「WORLD DESIGN CONGRESS ERA 05」が2005年9月22日～28日コペンハーゲン(デンマーク)を中心に、ヘルシンキ(フィンランド)、イエテボリ(スウェーデン)、オスロー(ノルウェー)で開かれます。交流委員会ではそれらに関連して「北欧デザインツアー」仮称を企画する予定です。JIDの企画として会員の皆様に満足いただける内容にするべく現在、交流委員を中心に情報、アイデアを収集中です。

● 会議のテーマについて

「デザインの担う役割の変化とその挑戦」にフォーカスして。ERA05では“デザイン”が世界の発展に影響を及ぼすことが出来ると確信しています。そこでは地理や民族や経済的な理由によって制限される事のない全ての生活の質に焦点が置かれるのです。

ERA005は「デザインの変化と挑戦」が移民の流入の激しい地域、人口増加地域、多民族文化の混在する地域の、以上の選ばれた3地域で達成できる真の可能性を探求することを強く望んでいるのです。

そのような変化を成し遂げるために今回の会議では興味を喚起する事、状況の把握、そして解決への提案が必要なのです。

会議ではデザイナー達を奮起させ、団体の力をあわせ、そして様々に考えることで目的に向かって行きます。

スケジュールの詳細は未定ですが、会議は2005年9月26日からコペンハーゲンで開かれます。また9月22日～24日にはオスロ、イエテボリ、ヘルシンキの3都市で、同時並行でプレコンgressも行われます。

委員会 報告

選考委員会

担当理事：岩倉榮利
委員長：木村戦太郎

平成16年度 第3回選考委員会

日時：2004年10月2日(土) 13:30～16:30
場所：文化女子大学インテリアデザイン研究室
出席：岩倉榮利、木村戦太郎、山本棟子、中川帛子
秋山修治、吉良ヒロノブ、清水忠男
峰尾事務局長

◆検討事項

[1] 応募要項の発表について

1. 発送は2月末頃とするが、新春交礼会で概要をプレス発表する。
2. 新JID賞について出来るだけ早くJIDのホームページに掲載する。リリースのタイミングと広報内容の調整は広報委員会に任せる。

[2] 外部審査員の人選と審査方法について

1. インテリア系、プロダクト系、情報系から各1名に理事長を加えて4名とする。
2. 人選については、次回迄に各委員が案を持ち寄る。
3. 第1次審査(書類選考)
4. 第2次審査(現地・現物審査)は選考委員が行い
5. 最終審査には、外部審査員および理事長が参加し、選考委員も加わる。
6. 審査員それぞれの持ち点については今後検討する。

[3] 応募要項の作成とデザイン

1. デザインは、製作込みで外部発注する。
2. ポスターをA2四つ折りとし、裏面に応募要項・応募用紙として封筒機能を持たせては。
3. 発送先数は約1000部
正会員・賛助会員、学校関係、関連団体、OZONE
依頼分など

[4] 入賞楯、表彰状

1. 楯のデザインが毎年変わるのが良いのか、固定すべきか、今後検討する。
2. 表彰状は、二つ折りで自立する形状のものなども検討する。

平成16年度 第4回選考委員会

日時：2004年11月6日(土) 13:30～15:30
場所：JID事務局隣・OZONE会議室
出席：岩倉榮利、木村戦太郎、山本棟子、中川帛子
秋山修治、吉良ヒロノブ、清水忠男
峰尾事務局長

◆検討事項

[1] JID賞の目的(説明文)について

「JID賞は、デザイナーや企業等の優れた活動成果を表彰して日本のインテリアデザインの質的向上を図り、豊かな社会と文化の発展に寄与することを目的としています。現代の多様なライフスタイルへの提案をはじめデザインによる地域への貢献、福祉や環境的視点を持つ取り組み、若いデザイナーの意欲的な試みなどに対しても積極的な評価を行い、インテリアの重要性・デザインの力を社会に発信します。」

[2] 外部審査員の人選について

1. 情報系審査員を、一般紙(三大紙)と専門誌から各1名とする提案があり、一般大衆への広報という観点からは意味があると判断されるが、予算との関係もあり今後の検討課題である。
2. 審査員候補者について各委員から海外在住者を含めて具体的氏名が提案され、今後は謝金や条件などをつめ、人数を絞って打診することとした。

[3] 受賞作品のデータ管理について

1. 応募書類には紙焼写真の貼付とするが、入賞決定された際にはCD-R(JPEGファイル)の提出を条件として、JID賞の広報活動への活用を図ることとした。

※次回・平成16年度 第5回選考委員会

日時：2004年12月12日(日) 13:30～
場所：文化女子大学 インテリアデザイン研究室

委員会 報告

情報委員会

担当理事：清家淳一
委員長：八十常充

ワーク集 2006年出版に向けて編集協力会員募集
日本インテリアデザイナー協会ワーク集2004年が無事出版されました。ワーキンググループ内で編集、デザイン作業をされた関係者の気配りや努力は大変な事だったと推測します。

会員作品を広く世に問うワーク集として、企業、デザイナー、教育者、デザインを志す若い人達の目標になる図書を考えたいと思います。

「ワーク集2006年度」出版に対し、企画、編集、デザインや事務作業にご協力お願いします。出版に関し興味のある方ご連絡をお待ちします。

連絡先：本部事務局 又は 情報委員会 清家淳一

E-mail: seike.dezain@k3.dion.ne.jp

『IFFT 2004』 東京国際家具見本市を見て

関東事業支部 川上 信二

今年も恒例の東京国際家具見本市が、ビッグサイトにおいて11月24日から4日間開催された。

今回は特に、創立25周年、開催20回目と云うことである。以前から良く云われていることであるが、日本の国際家具見本市は、単なる展覧会から欧米のような活気ある商取引きの場に、中々脱皮できないでいるとの悩みは、今回の記念すべき節目にもやはり解消されていないようであった。

しかし、この2～3年の国際化への努力は昨年の「ASIAN NEXT」、そして今年の「NIPPON COLLECTION」にその片鱗を感じさせ、今後にもっとも期待を持たせるスペースになっていたが、実際の国際市場への切り込みにはデザインの普遍性に欠けるのが残念である。

今回が最初と云う「インスピレーション パビリオン」のアイデア商品、デザイナーズギャラリーの「SOON」展、特にこの展示には次世代の才能が見えかくれて、楽しい雰囲気が出ていた。今後とも力を入れて、続けて欲しい企画である。

この20年来のストックホルム国際家具見本市などで、デザイン学生の作品を商品化して行く過程で国際市場を

獲得して行った例などが思い起こさせられた。

JID関東事業支部ユースの会も昨年に続き出展、健気なところを見せていた。大川、徳島、和歌山、など主要家具産地が夫々の産地ブランドをテーマにグループ出展していたが、企業別の小間割り展示が災いして、訴求力に欠けていたのは、残念である。

このほかにも「ライフスタイル」の視点からの期待を持たせる各社提案、試案があり、「インテリアトレンドショー」との併催による相乗効果もあり、内容の濃い生活デザインの提案が漸く見え始めた感もあるが、やはり魅力ある欧米先進国の参加がない国際見本市に、一抹の淋しさを感じたのは私だけがけではないと思う。

この見本市の前日から開催された、「旭川家具コレクション2004 TOKYO」で会った幹部の話に、来年ケルンへ出店のためドイツを訪ね、関係者に会って最初に一言、自動車であれほど実績を挙げている日本が、家具では何もやっていないのはどうしたわけか?とのことだったと云う。改めて国際市場進出への意欲に火が付いたと聞かされ、いよいよこれからが勝負かとの思いを新たにすることを付記しておきたい。



IFFT 2004 Designer's Gallery

SOON

24-27 November 2004 10:00~18:00

Drink Party: 25 November 18:00~22:00

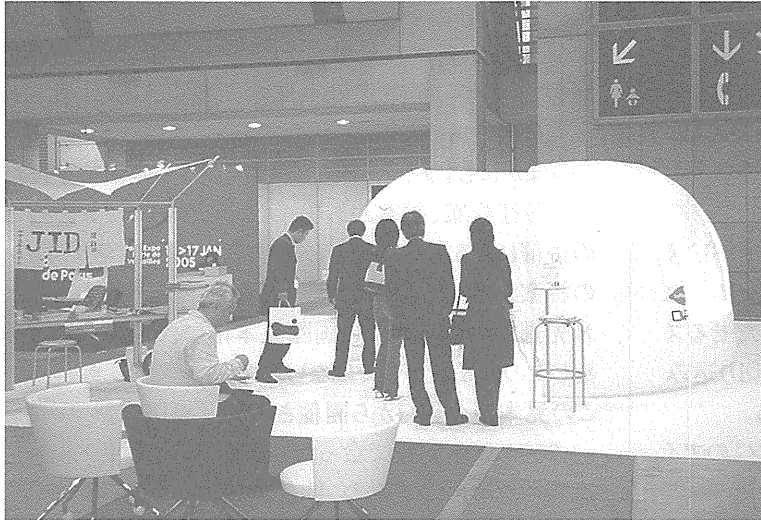
International Furniture Fair Tokyo 2004

Tokyo International Exhibition Center "Tokyo Big Sight" East 2 Hall-21

SOON 24-27 November 2004 10:00~18:00 Drink Party: 25 November 18:00~22:00 International Furniture Fair Tokyo 2004 Tokyo International Exhibition Center "Tokyo Big Sight" East 2 Hall-21	SOON 24-27 November 2004 10:00~18:00 Drink Party: 25 November 18:00~22:00 International Furniture Fair Tokyo 2004 Tokyo International Exhibition Center "Tokyo Big Sight" East 2 Hall-21	SOON 24-27 November 2004 10:00~18:00 Drink Party: 25 November 18:00~22:00 International Furniture Fair Tokyo 2004 Tokyo International Exhibition Center "Tokyo Big Sight" East 2 Hall-21	SOON 24-27 November 2004 10:00~18:00 Drink Party: 25 November 18:00~22:00 International Furniture Fair Tokyo 2004 Tokyo International Exhibition Center "Tokyo Big Sight" East 2 Hall-21
--	--	--	--

IPEC21-2004 人・環境・デザイン 「JIDギャラリー」出展

関東事業支部 事業委員会 委員長 下島 資子



協賛企業12社（五十音順 敬称略）

株式会社アイデック

愛知株式会社

株式会社アーテリア

エプソン販売株式会社

株式会社ドクターリフォームサンセイ・インテリア

シーアイ化成株式会社

スガツネ工業株式会社

株式会社デザインルーム阪井

北陸アルミニウム株式会社

村井電材株式会社

株式会社ヤマゲン

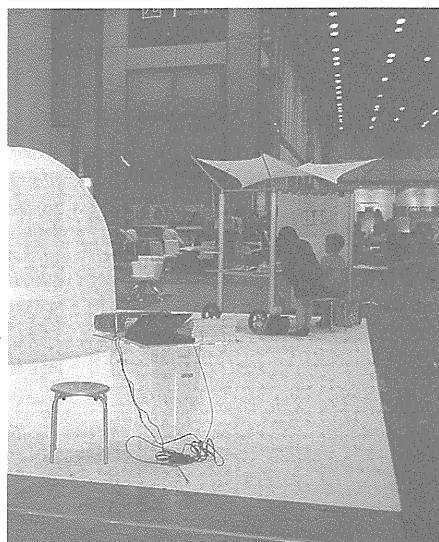
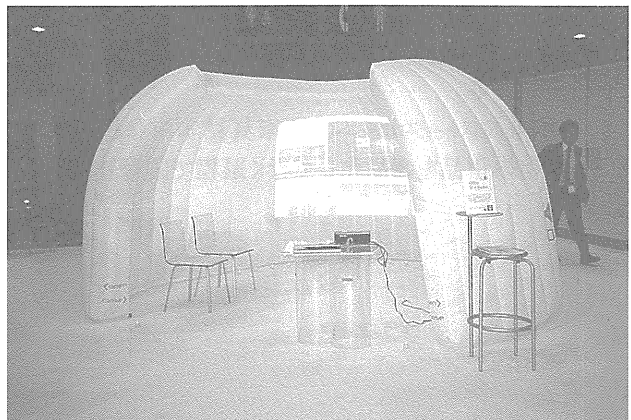
ラ・ヴィータ株式会社

10月13日～15日の3日間、東京ビッグサイトにて開催されたIPEC21には18,073人の来場者との報告がありました。JIDは初めての出展ですが、主催者である日本インテリアプランナー協会協議会（JIPA）からの招待出展となりました。

「JIDギャラリー」と称した白一色のスペースは会場の中央に位置し、約130m²の広々とした面積があり、出展効果を存分に発揮できたと思います。設営主旨は会員ワーク集掲載の会員作品および協賛企業の商品を3台のプロジェクターを使い、映像で紹介することです。

英国人ニック・クロスビーのデザインによる「バケツ・オフィス」と名付けられた白いバルーンブース面にエンドレスで映写しましたが静的な他のブースと違って、会場に躍動感をもたらし、曲面を持つバルーン形状のユニークさと共に、多くの人を魅了し、インテリアデザイナーの役割とその必要性を十分に伝えられ、会期を無事終了することができました。

最後に展示にご協力いただいた協賛企業の皆様に、この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。



「センス(扇子)のあるインテリア展」

中部事業支部 支部長 小宮 三辰



JID中部事業支部では今年度、2005年3月30日～4月5日の期間、名古屋国際デザインセンターのデザインギャラリーを会場にして、「センス(扇子)のあるインテリア展」を中部会員の作品展として開催いたします。昨年は犬山の明治村の帝国ホテルロビーを会場に「第2回ライト展」を関東、関西の会員の協力を得て成功させました。

先の作品展では長野県榑川村の本曾漆の作家の皆さんとのコラボレーションも実現し、技術交流を計ることも出来ました。温故知新の諺の如く、榑川村に何度か足を運び本曾漆にたずさわる日本の伝統工芸の技術者の皆さんと意見の交換をし、技術の交流を試みたことは中部会員にとって大変に有意義なことでした。

このような経験をふまえて今年度の作品展を検討したところ、やはり伝統工芸である扇子づくりに挑戦しようということになりました。

中部は京扇子に対し名古屋扇子が存在するところです。芸事、茶道、和菓子などなど日本の文化の粋が発展し受け継がれているところでもあります。

扇子は奈良・平安時代から今日までずっと使いつづけられている身近な道具です。扇子が単に風を送る小道具としてだけでなく、礼儀を弁える際の道具として、戦場では指揮を執る軍扇として、茶道では小道具として、日本舞踊では立振舞に大切な舞扇として、投扇などの遊び道具として、芸事の、とくに落語ではなくてはならない小道具として多用されており、正に堅苦しい場面から遊興の柔らかな場面まで登場するのが扇子です。また扇面散しの扱いで屏風絵や衝立、格子天井絵として使用されています。

こんな身近な素材としての扇子ですが、今日これをインテリアに取り入れる場面は大変少ないのではないかと。特に扇子自身を作る機会などまったく無いのでは。

「では扇子づくりに挑戦」が始まりです。前回同様まず「百聞は一見にしかず」で名古屋扇子の見学会(中部のものづくり探索)を行い名古屋城の西、幅下界隈の扇子づくりに携わる伝統工芸技術者(職人さん)の何人かを訪ねました。扇面に絵をのせる職人さん。手描きもあれば、手摺りもあり鮮やかな作品を仕上げていました。また次の場面では絵の仕上がった扇面を扇子に仕立てるべ

く折り作業をする職人さんがおられ、見事な手捌きで扇面を扇子の骨の本数分におり分けていました。扇子の骨は別行程で荒骨づくりから仕上げまで進められ、最後に折れた扇面と骨が合体し見事一丁上がりとなるんです。これらの作業は分業で進められ、それぞれの職種が一業を成しているのですが技術者の高齢もあり、手作業での成品は次第に減り、機械化が進んでいるとのこと。どの伝統工芸品も先細りの傾向はいなめません。



我々インテリアデザイナー協会の手でこのような世界に新しい風を送り込むことが出来ればと痛感します。また東南アジアの安い粗悪品の流入も大きな問題でしょう。扇子にも使い勝手によって、多くの種類があります。我々が今回取り上げたのはその中でも比較的大振りな舞扇です。舞扇としての実用性もありますが飾扇子として装飾にもなり、デザイン次第では照明カバーなどに利用できます。画面も大きいので斬新なデザインに照え、料理のしがいがあるといえます。

この作品展は関東、関西、九州の各支部の会員の皆様にも参加をお願いしております。1999年の「ハンカチ展」のように他の3支部での持ち回りの作品展が開催されることを望みます。

この扇子を対象にどんな新しいアイデアが生れるかインテリアの素材としてどんな取組が可能であるか挑戦してみてください。遊び心、ユーモアあふれる感覚を大いに膨らませて、大胆な発想の作品を期待しています。多くの方々の参加を改めてお願いします。

第3回「企業による重点商品及び新製品説明会」開催の報告

関西事業支部 組織部会長 高瀬 守博



前号 (No.225) の案内のとおり恙無く終了。その要点と次回への課題を報告します。

10月2日、午後1時より【アイカ工業(株)】様の1F・ショールーム見学から始まり、2時からセミナールームで5社の説明会を行いました。以下その内容要旨。

【(有)アド・ハウス】様は海外一流メーカーの素材感のある壁紙とインテリア資材の紹介と供給体制を、【(株)サンゲツ】様は新椅子張地、デザインタイル、12年ぶり復活の高級カーテンを、【アイカ工業(株)】様は環境対応型内装仕上塗材「ジョリパット」シリーズの多様なアイテムとルミナック、ニューシルキーパレットを、【マックスレイ(株)】様はミラーピンホールダウンライト及びTUTU(筒)スポットの特性と機能を、【大光電機(株)】様はDtecnicco CORSOの性能、機能、用途バリエーションを説明。各製品とも現物を手にとりての観察の他、用法管理、デリバリー条件等に関する質疑応答がその場で確認できると好評。

5時から参加者全員33名で懇親会。各々方、近況報告・情報交換を行い歓談のうちに閉会しました。

第1回、第2回、第3回と参加人数が減少傾向にあります。第4回への課題として、開催時期・場所・内容の早期告知に加え、JID関西事業支部の掲げる「継続は力…」を実践すべくより多くの会員の事業参加をお願いします。

JID-ACT kansai 見学会(武庫川学院 甲子園会館+ヨドコウ迎賓館)同行記

関西事業支部 山崎 晶

10月2日土曜日午後1時すぎJR甲子園口に集まったのはJID-ACT kansaiの若者約15名。一人おじさんがいて案内役。つまり私。久しぶりの見学会。行き先は武庫川学院甲子園会館。この春からACT kansaiに武庫川女子大の学生も参加することになったことから予先が向けられたようで、成り行きで私がいるという次第。



武庫川学院甲子園会館は、知る人ぞ知るもと甲子園ホテル。1930年竣工から太平洋戦争当時は海軍病院として、戦後は米軍の将校クラブとして存在。ホテルとして機能したのは十数年という、不幸な建物として記録されている。米軍が撤退したあとの荒廃した建物を1965年武庫川学院が譲り受けて甲子園会館としたシロモノ。その後パブリック部分をほぼ創建当時に修復してご当地の準文化財的建物に仕立てたもので、見学者の跡が絶たない。阪急芦屋川にあるヨドコウ迎賓館(旧山邑邸)と併せて格好の見学コースになっている。

ここで約1時間見学。さすがに1時間では遠藤新設計のこの建物は理解できない。

しかしながら次にF.L.Wright設計のヨドコウ迎賓館見学が予定されている。急がなければならない。午後1時から始めるというのが所詮無理ではあった。が、これは午前中、武庫川女子大の授業があったため。もっと見たい気持ちを抑えて次に向う。いかに早く、しかも安く、芦屋川まで行けるか一生懸命考える。そこにもこの見学会の意義がある、などと云いながらJR芦屋からタクシー

相乗りで4時の閉館ギリギリにセーフ。

武庫川学院甲子園会館が電話をかけていてくれたらしく事務長さんが丁寧に迎えてくださる。恐縮しつつクローズの時間を大幅にオーバーして、Wright氏の設計手法が学べたか、どうか・・・。

予定を終了して外へ出れば芦屋川には夕もやがかかって何かが恋しく、このままでは帰れそうもない。ところでこのあたり十数人を収容する喫茶店、居酒屋が見当たらない。JR芦屋まで歩きながら見つけることにする。ようやく1軒適当な店を見つけた時には残り数人。上がり込んでしばらくは見学の感想やら、ACTの将来やら、少々アルコールを加えて意気大いに盛り上がり。それで終わりかと思えばさらにあらず、もう1件。ACTは元気です。最後まで付き合ったおじさんもえらい。 不一

「中国華南地区家具セッション」報告会

11月17日、於ヤマギワ大阪・インテリア館2F

関西事業支部 事業部会長 高瀬 守博

“躍進目覚しい中国の家具・インテリア産業の実情を体感し地場（組織・団体・企業等）との交流及びデザインビジネス機会創出の可能性を探る”をテーマに8月18日から6日間、JID関西事業支部会員（小宮、清家、高瀬）と賛助会員（應地靖弘／（株）大和金属）4名で以下を視察・訪問。その報告会を、諸所都合で不参加の会員諸氏からの要望もあり、参加者18名で開催しました。



●第14回中国広州国際家具博覧会

中国出口商品交易会琶洲展館・・・130,000sqmに950のメーカー・グループと100ヶ国70,000人の取引買手が参集。その他、近郊の「広州吉盛伟邦国際家具博覧会中心」・・・メーカーによる一般客向け家具常設展示場を見学。

●第12回東莞国際家具見本市

広東現代国際展覧中心・・・250,000sqmに600余の家具・機械・資材メーカーと10,000人の海外バイヤー。ここで、この展示会の主催事務局「東莞名家具倶楽部」の王 執行秘書長と方 秘書長と面談。今後のJID関西事業支部との交流・企画・事業等に関する連絡先を確認。

●「廣東和豐五金塑膠制品有限公司」家具金物、プラスチック部品メーカー（鄧 Export Mgr.）訪問

●「運時通家具集団」総合家具メーカー（平塚 駐日代表、李 日本業務部副理）訪問

その他、会場でコンタクトのあったデザインビジネス可能性のある企業と打診中・・・

●「麗高傢俬有限公司」スチール＋木製チェア&テーブルメーカー（周 工程師項目經理）

●「珍意宝家具有限公司」スチールフレーム＋レザー・ファブリックチェア&テーブルメーカー（呉 董事長）

●「東莞市建益実業有限公司」籐＋ファブリックリビングセット&テーブルメーカー（鍾 出口經理）

家具・インテリアデザインの傾向と対応

●製造品種のルームコーディネート構成化、子供家具も単品種からルーム単位構成品種へ。

●素材の多様化・・・木材、スチール、アルミ、ガラス、石、レザー、ファブリックのコンビネーション。

●コストと品質・・・豊富な若い労働力（収入優先、1日2交替・残業も厭わない）と材料はトコトン利用で世界一のコスト競争力。品質はバラつきあり、個人の技術力の偏差が仕上り精度の偏差。

●コピー及び知的財産権侵害・・・作り手の意識薄。買手が競争を煽る・・・より安く、より早くを優先。

●デザイナーは・・・自己PP（パフォーマンス&プレゼンテーション）力を。その為の英会話、そして契約・・・

現在、（JID関西事業支部としての雛形）契約書フォーム作成のため試用中。

九州

KANSAI

CHUBU

KANTO

JIDNEWSKYUSHU

新しい九州新幹線で行く鹿児島、隼人町 「南風の生活文化展と 黒川紀章設計のホテル京セラ」

九州事業支部 飯田 一博



夏の日田例会に続いて、今回は鹿児島へ一泊二日の例会です。平成16年3月13日、九州新幹線が開通しました。新八代～鹿児島中央間を最短34分で結び、博多から鹿児島まで、従来の約3時間40分から、最速2時間10分台に短縮されました。是非、見に行こうということで今回の鹿児島例会が計画されました。

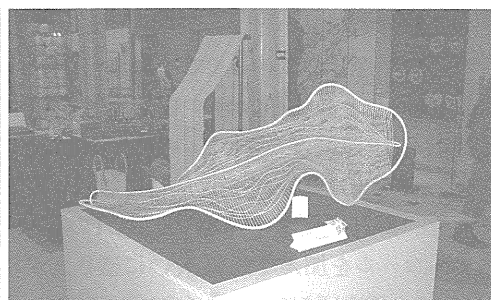
博多から特急リレーつばめに乗って新八代へ、八代から新幹線に乗り換えです。この新しい800系「つばめ」の設計は、ドーンデザイン研究所の水戸岡鋭治氏です。「リレーつばめ(787系)」「しろいかもめ」「ソニック」「ゆふいんの森号」今回、乗車した鹿児島中央～隼人間の特急「隼人の風」も水戸岡氏のデザインです。

全国新幹線網と切り離されたローカルだからできた固定概念を崩したコンセプトです。800系の一人舞台は早ければ、後6年で新しい車両が開発されるそうです。別府の竹を使った窓の日除けのブラインド(写真1)、熊本のかきを使った手洗いの間仕切り用の簾、京都西陣織の座席や大きな身障者用のトイレなど今までにない「旅人の心地良い空間」が演出されています。

是非、一度見に来ませんか?一見の価値はありますよ!

鹿児島中央駅からは特急「隼人の風」。真っ黒の薩摩隼人の鎧をイメージした車両と、木作りの少し懐かしさを感じるインテリア(写真2)。地ビールでなんとなく興奮して話が弾み、アツという間に隼人に着きました。

宿泊したホテル京セラは黒川紀章氏設計。混浴のスパ「スポーツ&リラクゼーションクラブ」や、スイートルームなども案内して頂きました。



この例会の二つ目の大きな目的である「南風の生活文化展2004」を見学しました。

今年で7回目を迎えた「Hayato Design Competition 2004」。テーマ「大らかに時を紡ぐ」には、北は北海道から南は沖縄までの282点の参加があり、絵画、彫刻、オブジェ、工芸、家具やテキスタイルなど素材やジャンルにこだわらず生活の場を提言する作品が公募されています。特徴的なことは、隼人町の住民の手で運営されている全国でも珍しい全国公募展だということです。JID九州事業支部担当山永耕平理事が昨年より審査をされています。

三つの会場「南風人館80点」「サティ・スタジオ55点」「ホテル京セラ24点」に展示されている作品の見学。木と生活ミュージアム「南風人館」の塩見氏、サティ・スタジオの実行委員長でもある平千賀子氏に詳しい説明を頂きました。

隼人の木と生活ミュージアム「南風人館」は木材を中心とした住宅資材の会社が、地域貢献や社員の基礎能力の向上にと、住宅資材ショールームの倉庫半分の中に、「住まいの中にアートを!」というコンセプトで、作家に展示スペースを開放しています。

クラフト館、ゲストハウスギャラリーとも1年間の展示計画がされているという話を聞きました。

その後、隼人塚や鹿児島神宮に案内して頂き、予定外の隼人町観光ができました。

また、サティ・スタジオで、実行委員長の平千賀子氏から「南風の生活文化展2004」の背景など詳しい説明を聞いて、生活文化とインテリアデザインとは大きく関わっていることを痛感しました。

事務局からの お知らせ

会員異動のお知らせ

(正会員)

会員番号0857 小田 一美 会員名簿・関西p.18
・事務所移転 株式会社アサヒプランニング
〒721-0961 広島県福山市明神町2-12-12
Tel:084-920-9939 / Fax:084-920-9968

会員番号0511 湊谷 章 会員名簿・関西p.19
・自宅郵便番号訂正 〒560-0081

会員番号0772 花田 眞 会員名簿・関西p.20
・自宅移転 〒565-0842
大阪府吹田市千里山東2-23-13

会員番号1212 藤本 賢一 会員名簿・関西p.20
・事務所移転 有限会社インデックス
〒650-0047
兵庫県神戸市中央区港島南町5-5-2
Tel:078-304-7255 / Fax:078-304-7256

※自宅電話番号は他の家にかかってしまうためしばらく電話はお控え下さい。

会員番号1211 上中 洋人 会員名簿・関西p.18
・事務所移転 有限会社インデックス
〒650-0047
兵庫県神戸市中央区港島南町5-5-2
Tel:078-304-7255 / Fax:078-304-7256

会員番号1208 平尾 謙二 会員名簿・関東p.12
・事務所移転 スペース・ジェイ株式会社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-7-1

会員番号0330 尾関 宣彦 会員名簿・関東p.05
・自宅Fax変更 Fax:03-3995-2219(電話番号と同じ)

会員番号1017 西村 稔 会員名簿・関西p.20
・勤務先名 株式会社ミカド
・Fax番号変更 Fax:06-6482-5857

会員番号1159 荒井 雄一 会員名簿・関東p.02
・Eメール変更 ARAI@ada1.co.jp

※「会員名簿」該当ページをご訂正ください

(賛助会員)

会員番号3110 会員名簿・賛助p.29
株式会社フジエテキスタイル
・電話番号変更 Tel:03-3378-8850
・Fax番号変更 Fax:03-3378-8863

会員番号3054 会員名簿・賛助p.28
創造社デザイン専門学校
・担当者変更 教務部長 生地由一

225号の訂正

会員番号1251 萩川 寿美礼 新会員紹介p.15
・名前訂正
(誤)萩川 寿美礼 (正)萩川 寿美礼
・Eメール訂正
(誤)sumire_hraikawa@llplanning.co.jp
(正)sumire_haraikawa@llplanning.co.jp

今後のご発展とJID活動での活躍を期待しています。

新会員 紹介 正会員

- ①会員名 ②会員番号(支部) ③推薦者
④勤務先・事務所 ⑤自宅



①松岡 茂樹
まつおか しげき

- ②1253(関東事業支部)
③日方一城・峰尾武

④デザインワークスコマ
〒208-0034 東京都武蔵村山市残堀1-100
Tel/Fax:042-531-5995
Email:matsuoka0707@yahoo.co.jp
⑤〒190-0022 東京都立川市錦町4-12-21
コーポのぞわ205
Tel/Fax:042-529-6649

賛助会員(企業)の皆様へ

—— 企業情報コーナー新設のご案内 ——

この度、JID Newsに賛助会員(企業)の皆様から、現役で活躍していますデザイナー(JID会員)への新製品情報やイベントのお知らせなど、自由に情報を掲載出来るスペースを設ける事にいたしました。

ご希望の賛助会員の方は本部事務局までご連絡下さい。

尚、掲載料など詳細は同封の資料をご覧ください。

JID news

企画・編集:本部情報委員会

JID News 担当理事 清家淳一

JID News 委員長 八十常充

// 委員 山崎晶

// 関東事業支部 佐藤健一

// 中部事業支部 出水裕子

// 関西事業支部 塚口眞佐子

// 九州事業支部 下田隆

—— あとがき ——

JID Newsを関西が担当して2回目の発行となりました。
関西からはもともとECHO誌が発行されていて、支部活動を中心にユニークな紙面と、各支部便りも載せて、全会員にお届けしています。

そこで問題となってきた事は JID News の支部ページとECHO誌の支部便りの扱いです。

同じような内容を両方で扱っていても面白くない。

幸い今期の組織から清家支部長が情報委員会担当理事を兼ねているので明快な方向付けが出来ました。

JID Newsは支部の事業活動を中心としたお知らせをまた、ECHO誌の方はデザインやアートの分野で活躍する関西事業支部会員を中心に個人の活動や発表を主に取り上げてお伝えする方向にいたしましたのでご期待下さい。

八十常充

*情報委員会ではJID News編集メンバーを募集しております。興味のある方は八十までご連絡下さい。

No.226

発行日:平成17年1月10日

編集デザイン:西尾直事務所
印刷:株式会社岡本印刷所